

**2023年度（2024年3月期）
第3四半期連結累計期間
（2023年4月～12月）
決算説明資料**

2024年1月30日
FDK株式会社

進化に挑戦 輝く未来と笑顔のために

© 2024 FDK CORPORATION

2023年度第3四半期決算概要について、ご説明いたします。

1. 2023年度第3四半期の業績	
2023年度第3四半期連結決算概要	3
営業利益変動要因（前年同期比）	4
連結貸借対照表	5
セグメント別情報	6
2. 2023年度（通期）見通し	9

今回ご説明させていただき内容です。

2023年度第3四半期連結決算概要

FDK

(単位：億円)

	2022年度 3Q	2023年度 3Q	前年同期比	
				増減率
売上高	468.1	458.9	△9.1	△2.0%
営業利益 (営業利益率)	8.2 (1.8%)	1.0 (0.2%)	△7.1 (△1.6pt)	△87.1%
経常利益 (経常利益率)	8.9 (1.9%)	2.3 (0.5%)	△6.6 (△1.4pt)	△73.8%
四半期純利益(△損失)※ (純利益率)	5.0 (1.1%)	△0.5 (△0.1%)	△5.5 (△1.2pt)	-

※親会社株主に帰属する四半期純利益

1株当たり四半期純利益	14.60円	△1.53円	△16.13円
-------------	--------	--------	---------

為替レート	(円/1USD)	135.71円	142.87円	+7.16円
	(円/1EUR)	140.28円	154.95円	+14.67円

ROIC※	1.2%	△0.8%	△2.0pt
-------	------	-------	--------

※ROIC = 税引後営業利益 / (自己資本 + 有利子負債)

※0.1億円未満切り捨て

© 2024 FDK CORPORATION

はじめに、連結決算概要です。

■ 電池事業の売上高はリチウム電池が国内外のセキュリティ・スマートメータ用途向けで増加やニッケル水素電池が海外の市販・車載用途向けで増加、さらに設備関連ビジネスが増加したことから、事業全体として増収となりました。電子事業の売上高はスイッチング電源が増加しましたが、モビリティ・タブレット用途向け各種モジュールが減少したことや前期に実施したコイルデバイスの事業譲渡などによる売上減により、事業全体として減収となりました。

この結果、売上高は前年同期に比べ9.1億円減少の458.9億円となりました。

■ 営業利益は電池事業はニッケル水素電池の販売機種の変動による利益減や原材料価格高騰の影響、電子事業も売上減による影響が大きく、これらの影響を経費削減や販売価格の見直しで補いきれず両事業ともに減益となり、前年同期に比べ7.1億円減少の1.0億円となりました。

■ 経常利益は0.8億円の為替差益を営業外収益として計上したものの、前年同期に比べ6.6億円の減少の2.3億円となりました。

■ 四半期純利益は減損損失の計上や法人税等の計上により、0.5億円の損失（前年同期は5.0億円の四半期純利益）となりました。

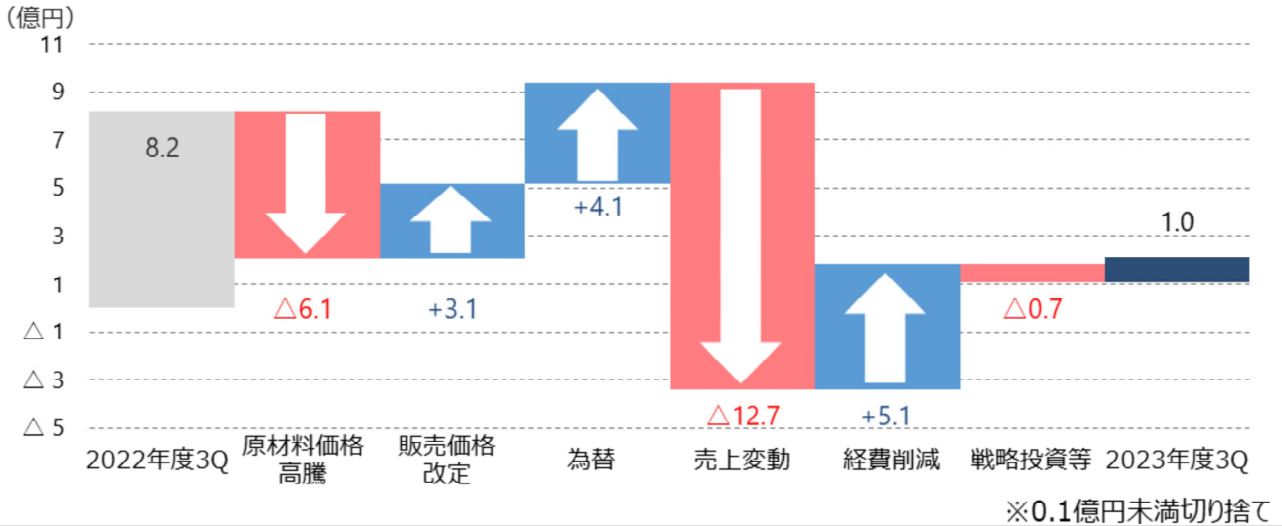
■ ROICは前年同期に比べ2.0pt減の△0.8%となりました。

営業利益変動要因（前年同期比）

FDK

（単位：億円）

	2022年度 3Q	2023年度 3Q	前年同期比	
				増減率
営業利益 (営業利益率)	8.2 (1.8%)	1.0 (0.2%)	△7.1 (△1.6pt)	△87.1%



© 2024 FDK CORPORATION

次に、営業利益の変動要因です。

■ 原材料価格高騰による減益影響がありましたが、販売価格改定により抑制しました。また、為替も好転影響がありました。

電池事業のニッケル水素電池や電子事業の各種モジュールの売上変動影響がありましたが、経費削減等で抑制しました。

しかしながら、すべての減益影響を抑制することができず、前年同期に比べ7.1億円減益の1.0億円となりました。

連結貸借対照表

FDK

(単位：億円)

科目	2022年度	2023年度 3Q	増減	科目	2022年度	2023年度 3Q	増減
流動資産	318.2	344.7	+26.5	流動負債	309.2	332.5	+23.2
(受取手形及び売掛金)	(162.2)	(176.1)	+13.9	(短期借入金)	(121.4)	(146.7)	+25.3
(商品及び製品)	(29.6)	(33.9)	+4.3	(其他流動負債)	(23.5)	(14.7)	△8.8
(仕掛品)	(31.1)	(30.3)	△0.8				
(原材料及び貯蔵品)	(48.4)	(54.3)	+5.8				
(其他流動資産)	(21.3)	(17.5)	△3.8				
固定資産	153.0	153.5	+0.5	固定負債	30.0	26.4	△3.6
(有形固定資産)	(144.7)	(145.2)	+0.4	(退職給付に係る負債)	(19.8)	(17.0)	△2.8
				負債合計	339.3	358.9	+19.6
				株主資本	127.6	127.1	△0.5
				(利益剰余金)	(△451.1)	(△451.6)	△0.5
				その他の包括利益累計額	4.2	12.1	+7.9
				(為替換算調整勘定)	(18.2)	(23.0)	(+4.8)
				(退職給付に係る調整累計額)	(△14.3)	(△11.4)	(+2.9)
				純資産合計	131.9	139.3	+7.3
資産合計	471.3	498.3	+27.0	負債純資産合計	471.3	498.3	+27.0

自己資本比率

28.0%

28.0%

-

有利子負債残高

122.2

147.5

+25.2

※0.1億円未満切り捨て

© 2024 FDK CORPORATION

次に、連結貸借対照表です。

■ 流動資産は、前年度に比べ26.5億円増加の344.7億円となりました。流動資産増加の主な要因は、未収入金などの其他流動資産が減少した一方、受取手形及び売掛金や商品及び製品、原材料及び貯蔵品などの棚卸資産が増加したことによるものです。

■ 固定資産は、前年度に比べ0.5億円増加の153.5億円となりました。固定資産増加の主な要因は、有形固定資産が0.4億円増加したことによるものです。

■ 流動負債は、前年度に比べ23.2億円増加の332.5億円となりました。流動負債増加の主な要因は、未払賞与などの其他流動負債が減少した一方、有形固定資産の取得による支出などにより、短期借入金が増加したことによるものです。

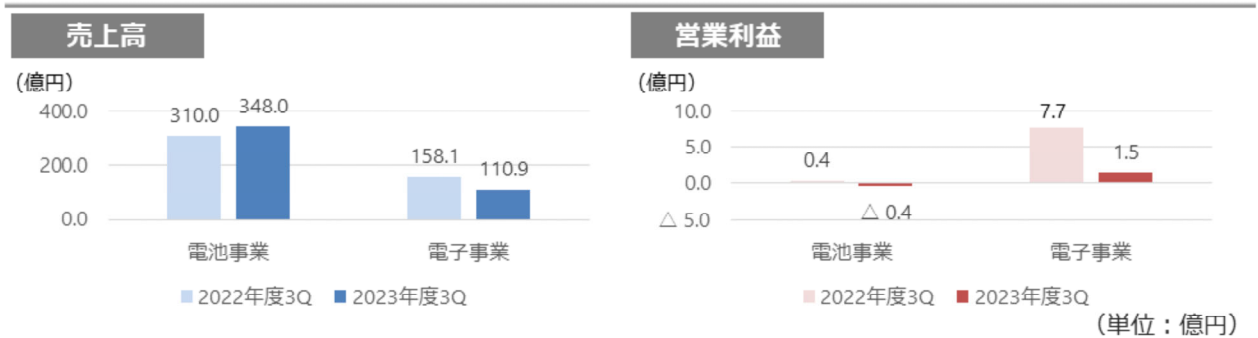
■ 固定負債は、前年度に比べ3.6億円減少の26.4億円となりました。固定負債減少の主な要因は、退職給付債務に係る負債が2.8億円減少したことによるものです。

■ 純資産合計は、前年度に比べ7.3億円増加の139.3億円となりました。純資産増加の主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により利益剰余金が0.5億円減少する一方、為替換算調整勘定が4.8億円、退職給付に係る調整累計額が2.9億円、それぞれ増加したことによるものです。

■ 有利子負債残高は、主に借入金の増加により前年度に比べ25.2億円増加の147.5億円となりました。

セグメント別情報

FDK



		2022年度 3Q	2023年度 3Q	前年同期比	
					増減率
電池事業	売上高	310.0	348.0	+37.9	+12.3%
	セグメント利益 (△損失) (率)	0.4 (0.1%)	△0.4 (△0.1%)	△0.9 (△0.2pt)	-
電子事業	売上高	158.1	110.9	△47.1	△29.8%
	セグメント利益 (率)	7.7 (4.9%)	1.5 (1.4%)	△6.2 (△3.5pt)	△80.1%
合計	売上高	468.1	458.9	△9.1	△2.0%
	営業利益 (△損失) (率)	8.2 (1.8%)	1.0 (0.2%)	△7.1 (△1.6pt)	△87.1%

※0.1億円未満切り捨て

© 2024 FDK CORPORATION

次に、セグメント別の情報です。

■ 電池事業の売上高はリチウム電池やニッケル水素電池、設備関連ビジネスなどすべてが増加したことにより、前年同期に比べ37.9億円増加の348.0億円、セグメント利益はニッケル水素電池の販売機種の変動による利益減や原材料価格高騰の影響により、0.4億円の損失となりました。

■ 電子事業の売上高はスイッチング電源が増加しましたが、各種モジュールが減少したことや前期に実施したコイルデバイスの事業譲渡などにより、前年同期に比べ47.1億円減少の110.9億円、セグメント利益は経費削減による利益増があったものの、売上減により前年同期に比べ6.2億円減少の1.5億円となりました。

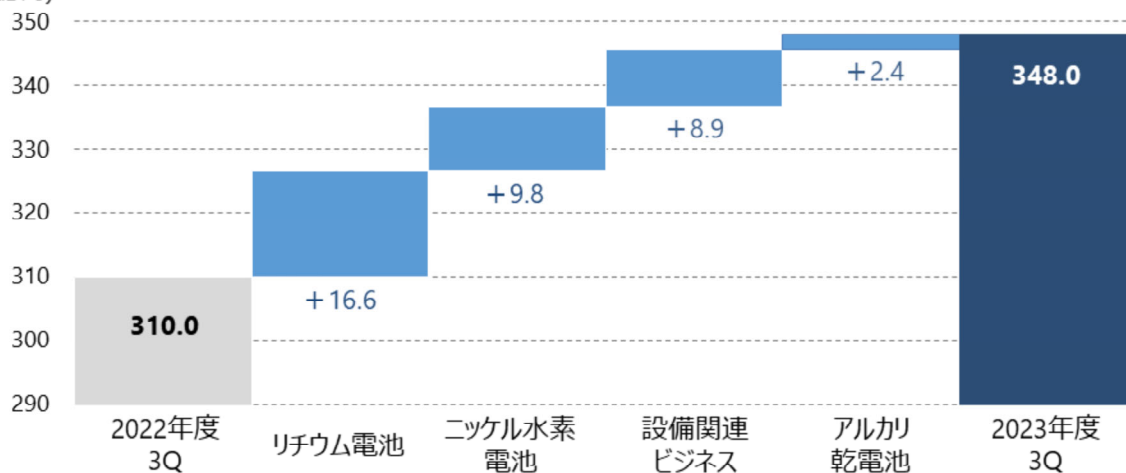
セグメント別情報（売上概況） 電池事業

FDK

(単位：億円)

		2022年度 3Q	2023年度 3Q	前年度比	
					増減率
電池 事業	売上高	310.0	348.0	+37.9	+12.3%
	セグメント利益（△損失） (率)	0.4 (0.1%)	△0.4 (△0.1%)	△0.9 (△0.2pt)	-

(億円)



© 2024 FDK CORPORATION

※0.1億円未満切り捨て

次に、セグメント別の売上概況です。

- リチウム電池は、国内外のセキュリティ・スマートメータ用途向けが堅調に推移したことや円安効果も加わったことにより、前年同期を上回りました。
- ニッケル水素電池は、海外の市販・車載用途向けが増加したことや円安効果も加わったことにより、前年同期を上回りました。
- 設備関連ビジネスは、自動車関連設備が増加したことにより、前年同期を上回りました。
- アルカリ乾電池は、前年同期を上回りました。

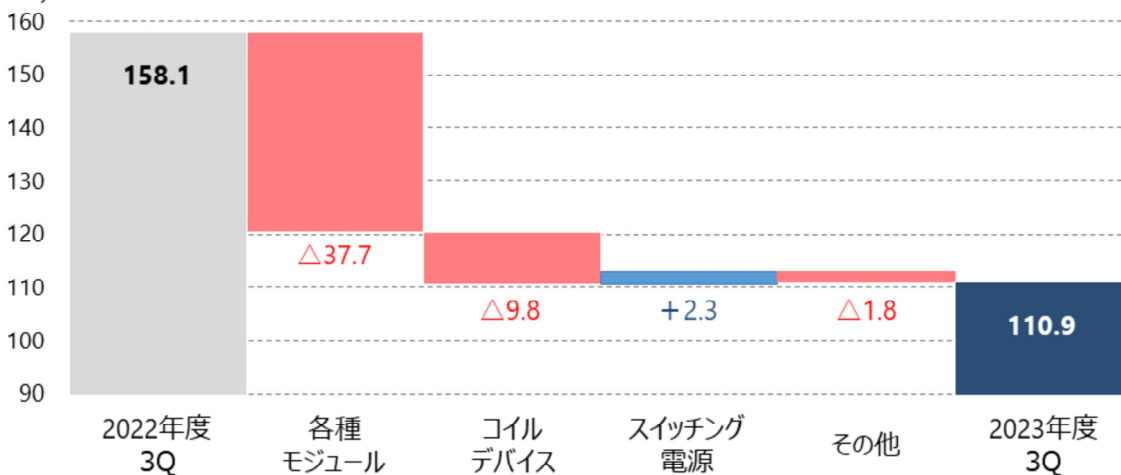
セグメント別情報（売上概況） 電子事業

FDK

(単位：億円)

		2022年度 3Q	2023年度 3Q	前年度比	
					増減率
電子 事業	売上高	158.1	110.9	△47.1	△29.8%
	セグメント利益 (率)	7.7 (4.9%)	1.5 (1.4%)	△6.2 (△3.5pt)	△80.1%

(億円)



© 2024 FDK CORPORATION

※0.1億円未満切り捨て

続いて、電子事業については、

- 各種モジュールはモビリティ・タブレット用途向けが減少したことにより、前年同期を下回りました。
- スwitching電源は半導体装置用途向けが堅調に推移し、前年同期を上回りました。

2023年度（通期）見通し

FDK

（単位：億円）

	2022年度 （実績）	2023年度 （予想）	前年度比	
				増減率
売上高	627.8	650.0	+ 22.1	+ 3.5%
営業利益 （営業利益率）	7.8 (1.3%)	5.0 (0.8%)	△2.8 (△0.5pt)	△36.7%
経常利益 （経常利益率）	8.5 (1.4%)	4.0 (0.6%)	△4.5 (△0.8pt)	△53.0%
当期純利益※ （当期純利益率）	3.1 (0.5%)	1.0 (0.2%)	△2.1 (△0.3pt)	△68.6%

※親会社株主に帰属する当期純利益

1株当たり当期純利益	9.22円	2.90円	△6.32円
------------	-------	-------	--------

為替レート	（円/1USD）	135.07円	142.80円	+ 7.73円
	（円/1EUR）	140.84円	154.80円	+ 13.96円

※0.1億円未満切り捨て

© 2024 FDK CORPORATION

次に、2023年度の見通しです。通期連結業績予想は、2023年4月26日発表の公表値を据え置いております。

- 売上高は、650.0億円で22.1億円の増収。
- 営業利益は、5.0億円、純利益は1.0億円の見通しです。
- 為替レートは、1USDドル、142.80円、1ユーロ、154.80円を想定しております。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

また、本資料では、業績の概略として多くの数値は億円単位で表示しております。決算短信等で百万円単位で開示しております数値を切り捨て表示しているため、本資料に表示されている合計額、差額などが不正確に見える場合があります。詳細な数値が必要な場合は、決算短信または四半期報告書を参照していただきますようお願いいたします。

FDK

確かな技術 育てる未来